



平成25年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月15日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ユーシン

コード番号 6985 URL <http://www.u-shin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 田邊 耕二

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務本部長

(氏名) 田尾 和也

TEL 03-5401-4660

四半期報告書提出予定日 平成25年10月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年11月期第3四半期の連結業績(平成24年12月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第3四半期	60,318	30.4	1,824	△30.3	3,251	57.0	4,039	—
24年11月期第3四半期	46,268	8.2	2,616	△1.2	2,071	6.4	△497	—

(注) 包括利益 25年11月期第3四半期 7,069百万円 (—%) 24年11月期第3四半期 △764百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年11月期第3四半期	133.73	—
24年11月期第3四半期	△16.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年11月期第3四半期	147,110	38,718	25.3	1,241.17
24年11月期	97,187	31,130	32.0	1,003.04

(参考) 自己資本 25年11月期第3四半期 37,183百万円 24年11月期 31,103百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年11月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年11月期	—	5.00	—	—	—
25年11月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年11月期の連結業績予想(平成24年12月1日～平成25年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	79.9	4,000	52.7	4,700	112.8	4,200	—	139.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

U-Shin Holdings Europe B.V.(オランダ)、
U-Shin France S.A.S.(フランス)、U-Shin
新規 4社 (社名) Slovakia s.r.o.(スロバキア)、U-Shin do B rasil Sistemas Automotivos Ltda.(ブラジ
ル)

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年11月期3Q	31,995,502 株	24年11月期	31,995,502 株
② 期末自己株式数	25年11月期3Q	2,036,987 株	24年11月期	986,794 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年11月期3Q	30,208,810 株	24年11月期3Q	30,606,046 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は完了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は、自動車部門を中心に主要顧客からの受注の回復傾向が続いていることに加え、アクセスメカニズム事業の業績の連結を開始したこともあり、売上高603億18百万円（前年同四半期比30.4%増）となりました。営業利益は、一部海外拠点における生産効率の低下や研究開発費の増加等により、18億24百万円（同30.3%減）となりました。

経常利益は、事業統合のための費用（7億13百万円）が発生する一方、円高修正に伴う為替差益（30億54百万円）の計上により、32億51百万円（同57.0%増）となりました。四半期純利益は、新工場への公的助成金収入（15億82百万円）を特別利益に計上したこともあり、40億39百万円（前年同四半期は純損失4億97百万円）となりました。

なお、アクセスメカニズム事業会社の株式取得日は平成25年5月24日ですが、Valeo社との合意を基礎として同年4月30日をみなし取得日としており、かつ同社が12月決算会社であることから、当第3四半期連結累計期間については5月1日より6月30日までの2カ月間の業績を連結しております。本決算につきましては、11月30日までの7カ月間の業績を連結する方針です。

また、事業買収前より継続して進めている海外生産施設の拡充も進捗しております。中国では広東省中山市内に建設した新工場への移転が完了し、平成25年9月12日に竣工式を行い本稼働を開始しました。メキシコに建設中の新工場につきましても、完成した建屋に設備を搬入して試運転を開始しており、来期初頭より本稼働する予定です。

各セグメントの業績は、以下のとおりです。

(自動車部門)

主要顧客からの受注回復が続いたことと、アクセスメカニズム事業の連結開始により、売上高は454億50百万円（前年同四半期比47.7%増）となりました。一部海外拠点における生産効率の低下や研究開発費の増加等により、営業利益は20億41百万円（同14.4%減）となりました。

(産業機械部門)

中国・欧州景気の底這い状況を反映して、建設機械や工作機械向けの出荷が緩やかな回復にとどまったため、売上高は128億11百万円（前年同四半期比4.6%減）、営業利益は13億91百万円（同15.1%減）となりました。

(住宅機器部門)

売上高は20億56百万円（前年同四半期比0.1%減）、営業利益は1億98百万円（同41.2%増）と堅調に推移しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は1,471億10百万円となり、前連結会計年度末に比べて499億23百万円増加しました。アクセスメカニズム事業会社の連結に伴って売掛金、棚卸資産、有形固定資産等が増加したことが主な要因です。

同様に負債は1,083億92百万円となり、買掛金等の営業債務を中心に、前連結会計年度末に比べて423億36百万円増加しました。また、有利子負債が181億8百万円増加したのは、当社において事業買収資金の借入を行い、新株予約権付社債の発行を行ったことによるものです。

純資産は387億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ75億87百万円増加しました。四半期純利益の計上等で株主資本が増加したことに加え、評価・換算差額の改善や新株予約権（15億1百万円）を計上したことによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年7月12日に「平成25年11月期 第2四半期決算短信」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間において、アクセスメカニズム事業の持株会社であるU-Shin Holdings Europe B.V.の株式を仏Valeo社より取得し、当該持株会社及び傘下の事業会社10社（内、特定子会社4社）を連結の範囲に含めております。

大和精工株式会社は、当社との合併により消滅したため、第1四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社における有形固定資産の減価償却方法は、従来、定率法（ただし、平成10年4月1日以降取得した建物（建物附属設備を除く）、及び工具器具備品のうち金型については定額法）によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

当社グループでは、中長期戦略の下、競争力確保のため海外への生産シフトを進める一方で、国内については広島新工場をグループのマザー工場として位置付け、国内の設備、技術、人材を集約することで生産体制の変革を進めております。平成24年12月に広島新工場が本格稼働するのを契機に、国内製造設備の内容、使用状況等を検討した結果、当社及び国内連結子会社の有形固定資産は今後は每期安定的に稼働し使用する見通しであることが確認されました。したがって、その投資効果は耐用年数の期間中に平均的・安定的に発現するものであるため、定額法による減価償却が合理的であると判断しました。

この変更により、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の減価償却費が393百万円減少し、営業利益は358百万円増加、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ367百万円増加しております。

なお、セグメントに与える影響については、セグメント情報等に記載しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,718	28,163
受取手形及び売掛金	15,363	32,317
有価証券	23	—
商品及び製品	3,594	6,471
仕掛品	1,541	2,095
原材料及び貯蔵品	3,969	7,075
その他	3,937	4,958
貸倒引当金	△422	△644
流動資産合計	61,725	80,437
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,872	14,836
機械装置及び運搬具（純額）	3,811	12,076
工具、器具及び備品（純額）	2,347	4,137
土地	7,923	9,556
建設仮勘定	3,141	4,752
有形固定資産合計	25,096	45,359
無形固定資産		
のれん	—	6,911
その他	487	3,011
無形固定資産合計	487	9,922
投資その他の資産		
投資有価証券	6,833	9,144
その他	3,205	2,194
貸倒引当金	△201	△3
投資その他の資産合計	9,836	11,334
固定資産合計	35,420	66,616
繰延資産	41	56
資産合計	97,187	147,110

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,620	21,752
短期借入金	5,600	4,816
1年内償還予定の社債	400	200
1年内返済予定の長期借入金	7,391	7,063
未払金	9,149	2,831
未払法人税等	126	903
賞与引当金	91	383
役員賞与引当金	132	25
製品補償引当金	1,042	731
工場解体費用引当金	160	124
その他引当金	—	418
その他	2,376	12,328
流動負債合計	32,090	51,579
固定負債		
社債	1,700	7,623
長期借入金	30,065	44,925
退職給付引当金	1,302	2,882
その他引当金	—	420
その他	897	961
固定負債合計	33,965	56,813
負債合計	66,056	108,392
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,016	12,016
資本剰余金	12,122	12,122
利益剰余金	9,230	13,004
自己株式	△585	△1,304
株主資本合計	32,783	35,838
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	683	2,169
為替換算調整勘定	△2,363	△825
その他の包括利益累計額合計	△1,680	1,344
新株予約権	—	1,501
少数株主持分	27	33
純資産合計	31,130	38,718
負債純資産合計	97,187	147,110

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)
売上高	46,268	60,318
売上原価	38,574	52,113
売上総利益	7,693	8,204
販売費及び一般管理費	5,077	6,380
営業利益	2,616	1,824
営業外収益		
受取利息	31	65
受取配当金	83	98
為替差益	109	3,054
その他	120	146
営業外収益合計	344	3,365
営業外費用		
支払利息	487	633
事業統合関連費用	—	713
その他	401	591
営業外費用合計	889	1,938
経常利益	2,071	3,251
特別利益		
投資有価証券売却益	34	48
助成金収入	—	1,582
その他	4	180
特別利益合計	39	1,811
特別損失		
固定資産除売却損	12	11
製品補償引当金繰入額	2,593	—
その他	87	1
特別損失合計	2,693	12
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△582	5,050
法人税、住民税及び事業税	726	858
法人税等調整額	△808	150
法人税等合計	△82	1,009
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△500	4,041
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2	1
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△497	4,039

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△500	4,041
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	273	1,486
為替換算調整勘定	△537	1,541
その他の包括利益合計	△263	3,028
四半期包括利益	△764	7,069
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△762	7,064
少数株主に係る四半期包括利益	△1	5

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年12月1日至平成24年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	自動車部門	産業機械部門	住宅機器部門	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	30,776	13,433	2,058	46,268	—	46,268
セグメント間の内部 売上高又は振替高	184	62	6	253	△253	—
計	30,960	13,496	2,065	46,522	△253	46,268
セグメント利益	2,384	1,638	140	4,163	△1,547	2,616

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去31百万円及び全社費用△1,579百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年12月1日至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	自動車部門	産業機械部門	住宅機器部門	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	45,450	12,811	2,056	60,318	—	60,318
セグメント間の内部 売上高又は振替高	157	88	7	253	△253	—
計	45,608	12,899	2,064	60,572	△253	60,318
セグメント利益	2,041	1,391	198	3,631	△1,806	1,824

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去35百万円及び全社費用△1,841百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. アクセスメカニズム事業会社の業績は「自動車部門」に含めております。なお、株式取得日は平成25年5月24日ですが、VaLeo社との合意を基礎として同年4月30日をみなし取得日としており、かつ同社が12月決算会社であることから、当第3四半期連結累計期間については5月1日より6月30日までの2カ月間の業績を連結しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、当社及び国内連結子会社における有形固定資産の減価償却方法を変更しております。これにより、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益は、自動車部門で322百万円、産業機械部門で11百万円、住宅機器部門で12百万円それぞれ増加しております。

(報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更)

報告セグメント別の損益をより適切に把握するため、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントに直接関係しない一般管理費等については各報告セグメントに配賦しない方法に変更しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報についても変更後の方法により作成しております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。